

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 NPO法人日本ボリビア人協会

- 1. 事業名称** 在日スペイン語圏外国人のための社会人基礎力養成事業
- 2. 事業の目的** 在日外国人が日本で安定した生活を送るために、隣人や職場の同僚らとのコミュニケーションに必要な日本語力および社会知識を身につける。
- 3. 事業内容の概要** 「社会人基礎力」の向上に向けたコミュニケーション能力等の習得等

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 7月6日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	岸晴苗、筒井美幸、土井佳彦、西川美帆、藤本久司、山田ロサリオ	日本語教室運営、アシスタント研修、教材作成	カリキュラム、担当講師、スケジュール等
2	平成25年 9月11日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	筒井美幸、土井佳彦、西川美帆、山田ロサリオ	アシスタント研修報告、日本語教室運営、教材作成	授業の進め方、教材等準備等
3	平成26年 3月18日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	筒井美幸、土井佳彦、西川美帆、山田ロサリオ	全事業報告、来年度事業	H26年度スケジュール等

5. 日本語教室の実施

- (1) 講座名称 在日外国人(スペイン語圏)のための社会人基礎力養成講座 Aコース
- (2) 目的・目標 ひらがな・カタカナ・基礎漢字の読み書きができるようになる
- (3) 対象者 スペイン語圏の外国人
- (4) 開催時間数(回数) 20時間 (全 10回)
- (5) 使用した教材・リソース 自作教材
- (6) 受講者の総数 18人
(出身・国籍別内訳 ボリビア人、ペルー人、チリ人)
- (7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 10月1日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	18人	ボリビア 16人、ペルー2人	自己紹介、プレテスト、あ・か・が行	全体で自己紹介を行った後、プレテストを行い、ひらがなの読み書きを学習。	西川美帆	山田ロサリオ、加瀬公恵、佐脇昌子、谷口保子、萩京子、若林みなみ
2	平成25年 10月3日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	19人	ボリビア 17人、ペルー2人	復習、さ～な行、こそあど／れ	前回の復習のあと、さ～な行の読み書きと、こそあど／れの文型学習。	岸晴苗	山田ロサリオ、石井リカ、佐脇昌子、平田育代
3	平成25年 10月8日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	15人	ボリビア 13人、ペルー2人	復習、は～や行、こそあど／こ	前回の復習のあと、は～や行の読み書きと、こそあど／この文型学習。	西川美帆	山田ロサリオ、佐脇昌子、谷口保子
4	平成25年 10月10日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	15人	ボリビア 13人、ペルー2人	復習、ら・わ行、特殊拍、数字、時間	前回の復習のあと、ら・わ行および特殊拍の読み書きと、数字・時間の学習。	岸晴苗	山田ロサリオ、加瀬公恵、佐脇昌子、平田育代
5	平成25年 10月15日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	19人	ボリビア 17人、ペルー2人	復習、ア～サ行、日付	前回の復習のあと、ア～ザ行の読み書きと、数字・日付の学習。	西川美帆	山田ロサリオ、佐脇昌子、谷口保子

6	平成25年 10月17日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	16人	ポリビア 14人、ペ ルー2人	復習、カ～パ 行、値段	前回の復習のあと、カ～パ行の読み 書きと、数字・値段の学習。	岸晴苗	山田ロサリ オ、石井リカ、 加瀬公恵、佐 脇昌子、平田 育代、若林み なみ
7	平成25年 10月22日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	14人	ポリビア 12人、ペ ルー2人	復習、マ～ワ 行、動詞	前回の復習のあと、マ～ワ行の読み 書きと、動詞の学習。	西川美帆	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保子
8	平成25年 10月24日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	15人	ポリビア 13人、ペ ルー2人	復習、漢字、 否定文	前回の復習のあと、基礎漢字の読 み書きと、否定文の学習。	岸晴苗	山田ロサリ オ、石井リカ、 佐脇昌子、谷 口保子
9	平成25年 10月29日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	15人	ポリビア 13人、ペ ルー2人	復習、過去 文、住所、ア チーブテスト	前回の復習のあと、住所氏名の読 み書きと、修了テスト。	西川美帆	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保子
10	平成25年 10月31日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	14人	ポリビア 12人、ペ ルー2人	テスト返却、 復習、修了式	修了テストを返却し解説をしたあと、 全体の復習と修了式。	岸晴苗	佐脇昌子

(8) 受講者の募集方法

チラシ個別配布、アスト津内に配架、関係者・団体にメール送付、団体HPおよびfacebookページに掲載

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

【第3回】

19:00～ 復習(フラッシュカード)
19:20～ ディクテーションテスト
19:30～ 文型導入・練習「これは～です」
19:50～ ひらがな五十音読み練習
20:10～ 文型導入「ここ／そこ／あそこ／どこ」
20:20～ 場所の言葉(教室、食堂、病院等)
20:30～ 練習「(場所／～さん)はどこですか？」
20:50～ まとめ・質疑応答
20:55～ 宿題配布



【第9回】

19:00～ 復習(かな／カナ、動詞の活用)
19:30～ 復習(住所・氏名の書き方)
20:00～ 修了テスト
20:50～ Bコースについて説明
21:00 修了



(10) 目標の達成状況・成果 コース開始時にプレイメントテストを、終了時にアチーブメントテストを实

	開始時	終了時		開始時	終了時
A	0	30	K	2	12
B	0	22	L	0	16
C	0	14	M	6	16
D	4	24	N	0	26
E	0	10	O	0	17
F	0	28	P	2	-
G	2	15	Q	0	-
H	0	28	R	0	-
I	0	28	S	0	-
J	0	12	T	7	-

※いずれも30点満点(テスト用紙別添)

(11) 改善点について 本事業の規定する「生活者としての外国人」においては、会話力もさることながら、自立した生活に向けた文字の読み書き能力の向上が重要であること、またそれが習得できていない者が多くいることを改めて感じた。この者にとっては、「標準的カリキュラム案」の内容でさえ非常に難易度が高いため、そこに入るまでの細かなステップを検討し、習得機会を提供していく必要がある。

- (1) 講座名称 在日外国人(スペイン語圏)のための社会人基礎力養成講座 Bコース
- (2) 目的・目標 日本人と一緒に仕事をするとときに必要なコミュニケーション能力を身につける
- (3) 対象者 スペイン語圏の外国人

- (4) 開催時間数(回数) 42時間 (全 21回)
 (5) 使用した教材・リソース 自作教材
 (6) 受講者の総数 14人
 (出身・国籍別内訳 ポリビア人、ペルー人、チリ人)
 (7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 11月5日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	13人	ポリビア 10人、ペ ルー2 人、チリ 1人	自己紹介、自 己評価、コ ミュニケーシ ョンWS	自己紹介、講座の趣旨等を説明の 後、「社会人基礎力」の自己評価とコ ミュニケーション・ワークショップを 行った。	土井佳彦	赤嶺ハビエ ル、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保 子、
2	平成25年 11月7日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	9人	ポリビア 6人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク①	語彙・文法:動詞、～て下さい GW①: 自国紹介(説明、グループ分 け、役割決め)	岸晴苗	赤嶺ハビエ ル、加瀬公 恵、佐脇昌 子
3	平成25年 11月12日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	11人	ポリビア 8人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク①	語彙・文法:動詞、～ています(現在 進行形) GW①: 自国紹介(ブレインストーミン グ)	西川美帆	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保 子
4	平成25年 11月15日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	8人	ポリビア 6人、ペ ルー2 人、チリ 0人	語彙・文法、 グループワー ク①	語彙・文法:動詞、～ています(状 態) GW①: 自国紹介(発表内容確定、方 法検討)	岸晴苗	山田ロサリ オ、石井リ カ、加瀬公 恵、佐脇昌 子
5	平成25年 11月19日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	7人	ポリビア 4人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク①	語彙・文法:動詞、～てもいいですか GW①: 自国紹介(発表方法、構成、 順序決定)	西川美帆	赤嶺ハビエ ル、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保 子
6	平成25年 11月21日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	10人	ポリビア 7人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク①	語彙・文法:復習 GW①: 自国紹介(発表練習、発表本 番)	岸晴苗	赤嶺ハビエ ル、石井リ カ、加瀬公 恵、佐脇昌 子、若林みな み
7	平成25年 11月26日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	8人	ポリビア 5人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク②	語彙・文法:～て、～て(順序) GW②: 三重県の紹介(グループ分 け、役割決め)	西川美帆	赤嶺ハビエ ル、佐脇昌 子、谷口保 子
8	平成25年 11月28日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	8人	ポリビア 5人、ペ ルー2 人、チリ 1人	ゲスト講義 ①、語彙・文 法、グループ ワーク②	ゲスト講義:ライフプラン(石井ミゲル 氏) 語彙・文法:復習 GW②: 三重県の紹介(テーマ決め)	岸晴苗	赤嶺ハビエ ル、石井リ カ、佐脇昌 子
9	平成25年 12月3日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	9人	ポリビア 6人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク②	語彙・文法:形容詞 GW②: 三重県の紹介(発表内容検 討)	西川美帆	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、佐脇昌 子
10	平成25年 12月5日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	8人	ポリビア 人5、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク②	語彙・文法:形容詞、～は～が～で す GW②: 三重県の紹介(発表方法検 討、準備)	岸晴苗	山田ロサリ オ、佐脇昌 子
11	平成25年 12月10日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	7人	ポリビア 5人、ペ ルー2 人、チリ 0人	語彙・文法、 グループワー ク②	語彙・文法:～は～より～です GW②: 三重県の紹介(発表練習、発 表本番)	岸晴苗	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保 子
12	平成25年 12月12日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	7人	ポリビア 4人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク③	語彙・文法:形容動詞 GW③: 母国または三重県の紹介 (GW①②の反省)	西川美帆	山田ロサリ オ、佐脇昌 子
13	平成25年 12月17日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	7人	ポリビア 4人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク③	語彙・文法:ほしい/たいです。 GW③: 母国または三重県の紹介 (GW①②の修正)	岸晴苗	山城ジョ ニー、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保 子

14	平成25年 12月19日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	8人	ポリビア 5人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 グループワー ク③	語彙・文法：復習 GW③：母国または三重県の紹介(発 表練習)	西川美帆	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、佐脇昌子
15	平成25年 12月21日 13:00～ 15:00	2時間	アスト津	6人	ポリビア 4人、ペ ルー1 人、チリ 1人	イベントブ ース出展(GW発 表)	三重県国際交流フェスタ： 母国または三重県の紹介(発表本 番)	岸晴苗 西川美帆	山田ロサリ オ、加瀬公 恵、谷口保子
16	平成26年 1月7日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	7人	ポリビア 4人、ペ ルー2 人、チリ 1人	グループワー クふりかえり、 ビジネス会話	12/21の発表ふりかえり ビジネス会話：欠勤・遅刻・早退	西川美帆	赤嶺ハビエ ル、石井リ カ、佐脇昌子
17	平成26年 1月9日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	6人	ポリビア 3人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 ビジネス会話	語彙・文法：復習 ビジネス会話：求人問合せ	岸晴苗	赤嶺ハビエ ル、石井リ カ、佐脇昌子
18	平成26年 1月14日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	5人	ポリビア 2人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 生活会話	語彙・文法：～ないでください 生活会話：学校の先生との電話のや りとり	岸晴苗	赤嶺ハビエ ル、佐脇昌 子、谷口保子
19	平成26年 1月16日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	5人	ポリビア 2人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 生活会話	語彙・文法：復習 生活会話：110番、119番	西川美帆	赤嶺ハビエ ル、佐脇昌子
20	平成26年 1月21日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	9人	ポリビア 6人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 ゲスト講義②	語彙・文法：～ができます ゲスト講義②「火事・救急時の対応 (増田豊氏)	西川美帆	赤嶺ハビエ ル、加瀬公 恵、佐脇昌 子、谷口保 子、平田育代
21	平成26年 1月23日 19:00～ 21:00	2時間	アスト津	6人	ポリビア 3人、ペ ルー2 人、チリ 1人	語彙・文法、 修了式	語彙・文法：～ことです。 修了式(アンケート、修了証授与)	岸晴苗	赤嶺ハビエ ル、佐脇昌 子、谷口保 子、平田育代

(8) 受講者の募集方法

チラシ個別配布、アスト津内に配架、関係者・団体にメール送付、団体HPおよびfacebookページに掲載

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

【第1回】

19:00～ 自己紹介、講座趣旨説明等
19:20～ 「社会人基礎力」説明、自己評価
19:30～ コミュニケーション・ワークショップ「パベル
の塔」
20:30～ ふりかえり
20:50～ 次回以降について
21:00 終了

【第20回】

19:00～ 語彙・文法：～ができます。
導入→練習
19:30～ ゲスト講義②「火事・救急時の対応」
増田豊氏(四日市消防)
講義→質疑応答→119番通報会話練習
→まとめ
21:00 終了



(10) 目標の達成状況・成果 開始時の「社会人基礎力」自己評価と修了後のアンケートおよびインタ
ビューから、スペイン語でならやれることが日本語でできないことを各自が実感し、今後の学習目標が具体

(11) 改善点について 受講者のニーズに則して平日夜の開催としたが、2014年4月からの消費税増税
に伴い、2013年秋以降製造業等増産体制のため残業が増え、参加困難になる者が急増したことから、学
習環境保護のための社会的な働きかけ及び柔軟な対応が必要である。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 日本語アシスタント研修
 (2) 目的・目標 南米諸国に関する基礎知識と基本的なスペイン語をもとに、日本語教室運営をサポート
 (3) 対象者 一般(国籍・経験・語学力等不問)
 (4) 開催時間数(回数) 30時間 (全 10回)
 (5) 使用した教材・リソース 自作教材
 (6) 受講者の総数 7人
 (出身・国籍別内訳 日本7人)
 (7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 8月20日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	6人	日本6人	三重県の外国人状況と多文化共生の取組み、スペイン語	全体で自己紹介の後、講座の趣旨等を説明。講義ののち、スペイン語学習。	筒井美幸、 山田ロサリオ	
2	平成25年 8月22日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	7人	日本7人	異文化コミュニケーション、スペイン語	講義ののち、スペイン語学習。	藤本久司、 山田ロサリオ	
3	平成25年 8月27日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	6人	日本6人	南米事情、スペイン語	講義ののち、スペイン語学習。	山田ロサリオ	
4	平成25年 8月29日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	3人	日本3人	南米の文化・歴史・音楽、スペイン語	講義ののち、スペイン語学習。	山田ロサリオ	
5	平成25年 9月3日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	5人	日本5人	社会人基礎力、スペイン語	講義ののち、スペイン語学習。	土井佳彦、 山田ロサリオ	
6	平成25年 9月5日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	6人	日本6人	コミュニケーションWS、スペイン語	講義・ワークショップののち、スペイン語学習。	土井佳彦、 山田ロサリオ	
7	平成25年 9月10日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	3人	日本3人	コミュニケーションWS、スペイン語	講義・ワークショップののち、スペイン語学習。	土井佳彦、 山田ロサリオ	
8	平成25年 9月12日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	4人	日本4人	南米の文化・歴史・音楽、スペイン語	講義ののち、スペイン語学習。	山田ロサリオ	
9	平成25年 9月17日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	5人	日本5人	日本語始動、スペイン語	講義ののち、スペイン語学習。	西川美帆、 山田ロサリオ	
10	平成25年 9月19日 18:30～ 21:00	2.5時間	アスト津	5人	日本5人	スペイン語、ふりかえり	スペイン語のテストと講座全体のふりかえり、日本語教室について説明	山田ロサリオ	

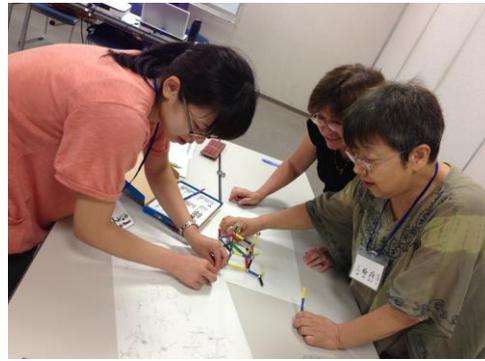
(8) 受講者の募集方法

チラシ個別配布、アスト津内に配架、関係者・団体にメール送付、団体HPおよびfacebookページに掲載

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

<p>【第1回】 18:30～ 講義「三重県の外国人状況と多文化共生の取組み」 質疑応答 19:50～ 休憩 20:00～ スペイン語基礎 21:00 終了</p>

<p>【第6回】 18:30～ コミュニケーションワークショップ「ハベルの塔」 ・説明 ・グループワーク ・ふりかえり 19:50～ 休憩 20:00～ スペイン語基礎 21:00 終了</p>
--



(10) 目標の達成状況・成果

受講終了後のインタビュー(下記)から、補助者としての基礎知識はある程度身についたものの、具体的なスキルについては実習回数を増やしてさらなる習得機会の提供と、フォローアップの必要性を感じた。

修了後インタビューより	
A	いろいろ学ぶことが多く、勉強になった。今後も参加して研鑽を積みたい。
B	座学を受ける前に、1、2回教室見学できるとイメージできていい。
C	各講義は大変勉強になった。実習ではもっとサポートできるようにがんばりたい。
D	つついスペイン語で会話してしまい、日本語の指導ができなかったので注意したい。
E	実習でわからなかったことなどを、講師に質問したり教えてもらう時間がほしかった。
F	日本語教育の知識より、コミュニケーション能力が重要だと思った。

(11) 改善点について 受講者のスペイン語力に差があったことから、本研修に求めるレベル等が異なり、講師も対応に苦慮した。事前の説明等をより丁寧に行い、受講者のレベルやニーズ等と本研修の趣旨等とがマッチするよう努めたい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 在日外国人のための社会生活力養成ノヤヘドソツクベク、イン語版

- (2) 対象 スペイン語圏の外国人
- (3) 目的・目標 日本人とのコミュニケーションに必要な日本語の表記と基礎文法・表現を身につける
- (4) 構成・総ページ数
- (5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 9月26日 18:30~ 21:30	3時間	アスト津	石井文司、岸晴苗、筒井美幸、土井佳彦、中原茂樹、西川美帆、山田ロサリオ	H25年度版教材作成の方針等	Aコース:文字、基礎語彙・基本文型、復習テストでワンセット/Bコース:同様+グループワーク
2	平成25年 10月28日 18:30~ 21:30	3時間	アスト津	石井文司、土井佳彦、中原茂樹、西川美帆、山田ロサリオ	H25年度版教材作成の確認・修正等	Aコース:イラスト依頼/Bコース:自己評価
3	平成25年 12月18日 18:30~ 21:30	3時間	アスト津	石井文司、岸晴苗、土井佳彦、西川美帆、山田ロサリオ	H26年度版教材作成の方針等	H25年度版をもとに自宅学習が可能のように編集
4	平成26年 3月19日 18:30~ 21:30	3時間	アスト津	石井文司、土井佳彦、西川美帆、山田ロサリオ	H26年度版教材の内容等	自宅学習で習得可能な内容

(6) 使い方

(7) 具体的な活用例

在日スペイン語圏学習者を対象に、入門から初級レベルまで、日本語表記の基礎と日本語基礎表現(語彙・文型)をもとに、日本人とコミュニケーションをとりながら協働作業を行うための力を養う。

(8) 成果物の添付 別添

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

在日外国人が日本で安定した生活を送るために、隣人や職場の同僚らとのコミュニケーションに必要な日本語力および社会知識を身につける。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

日本語教室Aコースについては、改めて入門レベルのニーズの高さを感じるとともに、基礎教育の意義・効果を示すことができた。同Bコースについては、日本人補助者の参加人数を高めることで、日本語によるコミュニケーションの量をアップさせる必要性を感じた。ボランティア研修においては、実習(教室活動でのサポート)後のフォローアップを丁寧に行うことで、さらなるスキルアップにつなげたい。教材作成においては、自学自習にもつながるよう内容の検討と編集が重要であることがわかった。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

Can-do Statementsの考えに基づいた学習項目の立て方と選定の目安としては非常に有用であった。一方で、在日期間にかかわらず、日本語習得機会に恵まれなかった者にとっては、ひらがなの読み書き等、カリキュラム案による学習以前のレベルについて集中的・体系的に学習したいというニーズが高く、「対話型」と「学校型」の2つのスタイルを組み合わせる活動が必要であると感じる。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

地元の地域国際化協会および大学、NPO等から講師協力等を得ることができ、今後の活動においても引き続き連携・協働を行うことができるようになった。

(5) 改善点、今後の課題について

昨年度と今年度の委託事業を通じて、カリキュラム案をもとに3つのコース(入門、初級、初中級)を開発することができ、今後の自主開催に向けて大きな足がかりとなった。今後は、教室参加が保障されるような学習環境整備について、国等で制度化を進めることを求めると同時に、教室参加がかなわない人たちへの学習機会の提供(家庭教師派遣、通信講座等)にも努めていきたい。

(6) その他参考資料 別添